

前期基本計画 令和 6年度 政策方針書

政 策： 06 学びにより充実した人生を送ることができるまち

担当部長職・氏名	教育次長 久保 雪子
----------	------------

1. 政策の実現状況を明らかにする

(1) この政策が前期基本計画期間で目指すまちの姿と、基本構想が目指す状態との関連

	【この政策が前期基本計画期間で目指すまちの姿】	市民の誰もが生涯にわたりそれぞれのステージで学ぶことができる環境が整っていることは、充実した人生を送るうえで重要です。そのために、子どもたちの学習環境をはじめ、すべての世代が教育や文化によって心豊かに暮らすことができる環境の充実を図ることで、市民一人一人が充実した人生を送ることができるまちを目指します。
	【基本構想が目指す状態（やさしさに包まれた滝沢）との関連】	「学びにより充実した人生を送ることができるまち」の実現を通じて、市民が主体的に学ぶことができる環境や学んだことが地域に生かされる「学びの好循環」が生まれ、かかわりによる市民主体活動を後押しできる環境が育まれます。また、安全・安心な教育環境の充実が図られ、学びの基盤づくりにつながります。

(2) 政策に関連する指標の状況

No	政策関連指標	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値					目標値	進捗状況
		令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和 9年度	進捗率(%)	
1	子どもの教育について、学校、家庭、地域の連携があると感じている人の割合 単位 %	59	60	61	62	63	63	- 0.0	
2	趣味や特技を披露できる機会が地域にある人の割合 単位 %	13.8	14	15	16	17	17	- 0.0	
	単位								

(3) 政策を構成する施策及び関連する指標の状況

No	施策名	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値					目標値	進捗状況
	施策関連指標	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和 9年度	進捗率(%)	
1	06010100 安全安心でいきいきと学習できる教育基盤の充実 子ども達が不安なく暮らせると感じている人の割合 単位 %	28.3	33	36	39	42	42	- 0.0	
2	06010100 安全安心でいきいきと学習できる教育基盤の充実 子ども達が生き生きとしていると感じている人の割合 単位 %	42.6	43	44	44	45	45	- 0.0	
3	06010200 「生きる力」を育む学校教育の充実 5年生までに受けた授業で、課題の解決に向けて、自分で考え、自分で取り組んでいた児童の割合（小学校） 単位 %以上	81	81	81	81	81	81	- 0.0	
4	06010200 「生きる力」を育む学校教育の充実 1、2年生の時に受けた授業で、課題の解決に向けて、自分で考え、自分で取り組んでいた生徒の割合（中学校） 単位 %以上	87	87	87	87	87	87	- 0.0	
5	06010300 生涯にわたる学びの支援とスポーツの推進 滝沢市はみんなが支えあうことで地域の課題を解決できる市だと思っている人の割合 単位 %	42.9	43	43.5	44	45	45	- 0.0	
6	06010400 文化に親しみ学ぶ環境の充実と文化芸術の振興 滝沢市芸術祭・郷土芸能まつりの入場者数 単位 人以上	2,642	2,680	2,740	2,800	2,850	2,850	- 0.0	

前期基本計画 令和 6年度 政策方針書

政 策：06 学びにより充実した人生を送ることができるまち

担当部長職・氏名

教育次長 久保 雪子

2. 政策の実現に向けた現状を認識する

(1) 政策の進捗状況分析

政策の進捗に関連する指標である「子どもの教育について、学校・家庭・地域の連携があると感じている人の割合」は、平成29年度以降減少傾向にありましたが、令和3年度に割合が大きく増加しました。これは、教育振興運動を基盤とした学校教育振興協議会の地域学校協働活動が展開された成果と捉えており、引き続き、地域と連携・協働しながら活動を推進していく必要があると捉えています。また「趣味や特技を披露できる機会が地域にある人の割合」は、令和2年度まで増加傾向にありましたが、令和3年度に大きく減少しました。これは、新型コロナウイルス感染症の影響によるところが大きいと考えられますが、今後は、コロナ禍前の状態を踏まえつつ、5類感染症への移行後の多様な学びを地域に活かす場を検討する必要があると捉えています。

(2) 政策に影響する社会環境変化

- ・多様化、複雑化する社会に適応するため、子どもたちの「生きる力」を育むことが求められています。
- ・少子化や施設の老朽化が進む中、学校教育の充実に向けた教育環境の整備が求められています。
- ・児童生徒支援、特別支援教育など、教育課題が多様化、複雑化、複合化しています。
- ・デジタル化の飛躍的進展に伴う教育デジタルトランスフォーメーションの推進が不可欠となっています。
- ・コミュニティ・スクールをはじめとした、学校と地域との連携・協働の充実が求められています。
- ・伝統文化の継承や文化財保護などを通じた郷土理解や魅力発見など、滝沢への愛着を育むことが求められています。

3. 政策の実現に向けた取組を決定する

(1) 政策が、令和 6年度から令和 9年度までの4年間で取り組む事（前期基本計画期間内の取組）

すべての世代を対象とした、スポーツ・文化芸術などを含めた学びあいの場の創出や、子どもたちの学校教育環境の整備は、心豊かな生活を送るうえで重要です。そのために、人と社会とのつながりが感じられる「学びあいの場」や、多種多様な「学びの場」を創出します。また、未来を担う子どもたちが伸び伸びと学校生活を送るために必要となる安全安心な教育環境を整備し、学校教育の充実を図ります。

(2) この政策が令和 6年度に特に力を入れて取り組む事（重点課題）

- ・滝沢市の学校教育の在り方検討委員会の提言を踏まえ、児童生徒が生き生きと学習できる教育環境の整備を行います。
- ・郷土を愛する心を育む「滝沢魅力学」を展開するとともに、主体的・対話的で深い学びを推進します。
- ・全ての世代の学びあいの場の創出を検討するとともに、地域学校協働活動を推進します。
- ・伝統文化や芸術の振興につながる場の提供と、滝沢の魅力を再発見できるよう郷土資料の充実を図ります。
- ・安全安心で栄養バランスのとれた給食を提供するため、適切な衛生管理を行うとともに調理環境の向上を図ります。

